

金田地区市政懇談会

日 時：平成30年7月17日（火）午後1時30分
会 場：金田北地区公民館



懇談テーマⅠ 地球環境・廃棄物・エコ対策に関するご意見
有害鳥獣駆除の今後の方向性とそのネックになっている点について

《ご回答》

有害鳥獣対策は、防護柵で農作物を守る「防除」、藪の刈払いや放任果樹を除去して野生鳥獣が近寄りにくくする「環境の整備」、個体数を調整する「駆除」の3つを総合的に実施することが有効とされているため、今後も銃器による駆除をお願いしたいと考えております。

猟友会の後継者の問題は、全国的な問題であり、栃木県に関わらず後継者不足となっています。ほかの自治体では、免許取得にかかる講習会費用を補助する方法が見受けられます。市としましては、猟友免許の講習会補助ができるかどうか検討をしているところでございます。

懇談テーマⅡ 安全・安心な地域社会に関するご意見

中田原工業団地周辺および国際医療福祉大学周辺の交通渋滞の緩和について
安心家制度の現状について。

《ご回答》

国道461号の国際医療福祉大学入口付近から旭橋付近までの区間が渋滞しており、当該区間のうち、信号のない市道中田原倉骨線との交差点について、市道の道路改良を計画し、信号機設置の方向で事業を進めております。また、片側2車線化を県に要望することも含め、渋滞の解消に向け継続的に取り組んでまいります。

富士電機北側丁字路から旧東野鉄道線に向かいまして、新しい道路を整備するため準備しております。そして農機具センターから、その新しい道路に接続する道路を改良する方

向で進めています。

「あんしん家」の看板のメンテナンスについては、最寄の小学校または学校教育課までご連絡をお願いします。今後も「あんしん家」の機能がより発揮できますように、子どもたちへの周知の徹底を図るなどして、更なる子どもたちの安全で安心な生活を守ってまいります。

懇談テーマⅢ 地球環境・廃棄物・エコ対策に関するご意見

ゴミ量の増加と焼却処理する設備面の能力、耐用年数等はどのような状況なのか。また、今後のゴミ減量対策、リサイクル、分別等の考え方も含めお伺いしたい。

《ご回答》

大田原市と那須町の家庭ゴミを主として処理する広域クリーンセンター大田原には、焼却炉が2炉あり合計1日120トンの焼却処理能力となっています。平成29年度の焼却量は、1日あたり約86トンであり、ゴミの搬入量は年々減少傾向にあります。まずは分別の徹底等によりゴミそのものの減量化をお願いいたします。

広域クリーンセンター大田原では、平成31年度からの3か年で、ボイラーやクレーンなどの基幹的設備の改良工事を実施する計画となっています。

今後も、適切な施設の維持管理により、長寿命化を図ることとし、大田原市も那須町とともに協力して事業を推進してまいります。それでも、ゴミが増えますと、施設に与える負担も大きくなりますので施設の延命化のためにもゴミの資源化・減量化にさらなるご協力をお願いいたします。

懇談会でいただいたご意見

○国道461号の路面凍結について

《ご回答》 国道461号は管理者である大田原土木事務所に依頼します。また凍結場所の歩道部分については、融雪剤散布で対応いたします。

○国道461号と市道内環状北大通り線の交差点から南大通り線丁字路までの渋滞について

《ご回答》 信号操作について、大田原警察署に要望済

○ゴミステーションにほかの地区から持ち込まれたゴミは違反ゴミなのか、不法投棄なのかについて

《ご回答》 不法投棄か違反ゴミかと言う話ですが、指定袋に入っていると違反ゴミになると思います。

○小中学校のトイレ洋式化とエアコン設置について

《ご回答》 トイレの洋式化については、平成 34 年度を目途に各学校のトイレの約半数を洋式化に整備しているところです。

また、エアコン設置については、平成 31 年度夏までに普通教室に設置予定となりました。（ただし、建設予定の大田原中を除く）

○新庁舎の喫煙対策について

《ご回答》 健康増進法の一部を改正する法律が 7 月 25 日に公布となり、敷地内原則禁煙となるため、例外規定による対応を検討しております。

○既存の自主防災組織への資機材の補助について

《ご回答》 すべてを市が対応することは難しい。170 自治会あって、まだ半分程度しか結成されていません。今は組織化に力を入れているということで、ご理解いただきたいと思います。

○下深田地区圃場整備事業の進捗と事業範囲の拡大について

《ご回答》 県営の調査計画事業が終わりまして来年度から面的工事に着手となります。区域の統合は時期的には遅いため、新たに圃場整備事業を実施したいということであれば、20ha 以上まとまれば県営、それ以下であれば団体営となりますが、いまは県営の圃場整備事業を推進しております。希望があれば地元説明会を行いますので、農林整備課にお問い合わせください。

○福祉大奥沢側の市有地の今後の整備計画について

《ご回答》 白さぎ湖を国より払い下げし、周辺の私有林 7ha を市が取得したところです。白さぎ湖周辺については湿地であるため、河川の堆積土砂の搬出に合わせ埋め立てをしていきます。少々時間はかかりますが、まずは土地の確保、次に埋め立て、その後公園として利用、地元と協議しながら進めていきたいと考えております。